

# カキ ‘富有’ の収穫期予測法を確立しました

本県のカキ‘富有’は、例年11月初旬から出荷が始まりますが、温暖化の影響によりカキの収穫期が遅れる傾向にあります。しかし、高温年であっても収穫期に影響のない年もあり、事前に収穫時期に関する正確な情報提供を行うことが求められています。そこで、気温とカキの着色との関係を解析するとともに、収穫期を予測する方法についての検討を行いました。

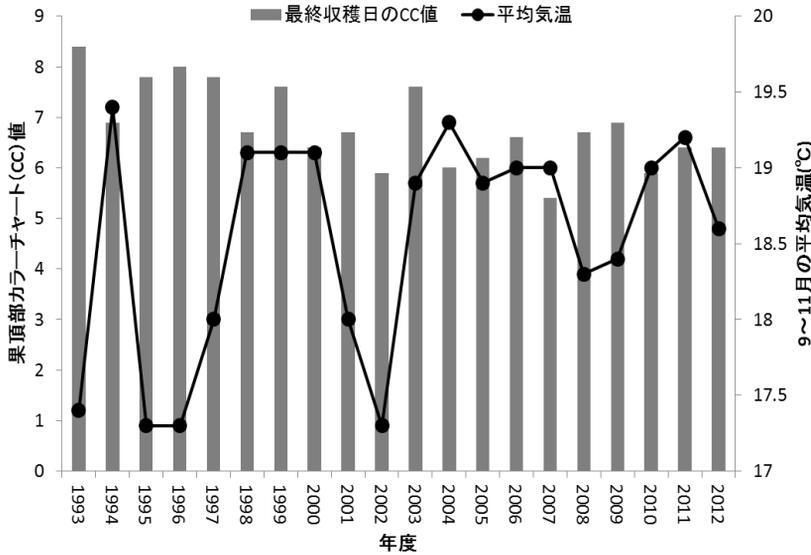


図 1993～2012年の20年間のカキ‘富有’の最終収穫日の果頂部カラーチャート(CC)値と9～11月の平均気温の推移

表 果頂部CC値5.0到達日と8月中旬以降に初めて遭遇した低い日平均気温との相関関係

日平均気温	果頂部CC値5.0到達日
25°C以下	0.498 * <sup>z</sup>
24°C以下	0.258 ns
23°C以下	0.710 ***
22°C以下	0.293 ns
21°C以下	0.381 ns
20°C以下	0.319 ns
19°C以下	0.170 ns
18°C以下	0.324 ns
17°C以下	0.473 *
16°C以下	0.171 ns

<sup>z</sup>\*, \*\*, \*\*\*は5%, 1%または0.1%水準で有意であること, nsは5%水準で有意でないことを示す

表 8月中旬以降に初めて日平均気温23°C以下に遭遇した時期の違いが果頂部カラーチャート(CC)値5.0到達日ならびに11月25日の果頂部CC値に及ぼす影響

平均気温23°C初遭遇時期	果頂部CC値5.0到達日	11月25日の果頂部CC値
9月上旬以前	11月6日 a	6.9 b
9月中旬	11月8日 a	6.7 ab
9月下旬以降	11月16日 b	5.8 a

## <研究成果>

- ・カキの着色は、秋季の気温が高いと最終的な色上りが悪くなります。
- ・カキの収穫期は、日平均気温23°C以下という一時的な低温遭遇の早晚によって左右されます。
- ・日平均気温23°C以下の初遭遇日と平年値との比較により、収穫時期が予測できます。